

官民連携データプラットフォーム 運営に向けた準備会 事務局資料

2020/08/06

【経緯】「Society 5.0」社会実装モデルのあり方検討会（1/4）

平成31年4月～令和2年2月

平成31年4月

東京版「Society 5.0」の実現を目指し、 **有識者検討会を設置**



小池百合子都知事



坂村健 東洋大学
情報連携学部長
(座長)

【経緯】「Society 5.0」社会実装モデルのあり方検討会（2/4）

「Society 5.0」社会実装モデルのあり方検討会 構成員

（敬称略）（所属・役職は令和元年12月23日時点）

《専門家委員》	埼玉大学人文社会科学研究科 准教授	内田 奈芳美
	I N I A D（東洋大学 情報連携学部） 学部長	坂村 健
	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 マーケティング統括部長	根来 香里
	フューチャー株式会社 取締役、フューチャー経済・金融研究所 所長	山岡 浩巳
《業界団体委員》	【東京商工会議所推薦】 富士ゼロックス株式会社 政策ビジネス推進部統括シニアマネジャー	藤井 謙志
	【経済同友会推薦】 株式会社ブイキューブ代表取締役 CEO	間下 直晃
	【日本経済団体連合会推薦】 日本経済団体連合会 専務理事	根本 勝則
	【新経済連盟推薦】 新経済連盟 政策部 部長	小木曽 稔
《東京都》	東京都知事	小池 百合子
	東京都副知事	宮坂 学

【経緯】「Society 5.0」社会実装モデルのあり方検討会（3/4）

主な議題

第1回

- 東京都5.0化の哲学と方法論
- Society 5.0社会実装の方向性と今後東京都が取り組むべき施策
- 官民連携データプラットフォーム構築に向けた都の調査・検討例の報告

第2回

- サービス領域について
- 官民連携データプラットフォームについて
- ダイバーシティ実現と社会的課題解決に資するソリューションのデモンストレーション

第3回

- データのガバナンスについて
- 官民連携データプラットフォームについて
- サービス領域について
- アイディアコンテストについて

第4回

- TOKYO Data Highway基本戦略について
- 都庁におけるICT人材の確保
- 官民連携データプラットフォームについて

第5回

- データプラットフォームに関するこれまでの検討の整理・今後の進め方
- 検討会 報告書（案）

【経緯】「Society 5.0」社会実装モデルのあり方検討会（4/4）

報告書（令和2年2月10日）

東京版 「Society 5.0」 社会の実現に 向けた哲学・大義

哲学

- オープン志向、ターゲット型から脱却、徹底的なデジタル化、アジャイル、地域・分野横断、大義と共感ハセット

大義

- 「都民QOLの向上」を第一義に、その下に「稼ぐ力の向上」、「ダイバーシティの実現」を位置づける

主な方策

● 官民連携データプラットフォーム構築

- データ活用のための人材育成
- 都民向けサービス実装

今後の進め方

- 「隗より始めよ」の精神で、都から行政データオープン化へアクションを起こす
- 産学官でチームを組み、オープンイノベーションで取組を強力に推進
- テクノロジーの進化を取り入れ、進化し続けるアクションプランを目指す

【経緯】 TOKYO Data Highway基本戦略

令和元年8月29日

- 世界最速のモバイルインターネット網の建設に着手し、5Gネットワークを早期に構築する「TOKYO Data Highway基本戦略」を発表



出典：「TOKYO Data Highway基本戦略」より

【経緯】「未来の東京」戦略ビジョン

令和元年12月27日

戦略10 スマート東京・TOKYO Data Highway戦略



第4次産業革命の新技术で東京を更にレベルアップした都市にするため、いつでも、誰でも、どこでも「つながる東京」の実現、データ共有と活用の仕組みづくり、行政のデジタル化を強力に推進する。東京版 Society 5.0である「スマート東京」を実現することにより、都民のQOLを向上させるとともに、世界の王都都市となることを目指す。

デジタルの力で
東京のポテンシャルを引き出し、
都民が質の高い生活を送る「スマート東京」
(東京版 Society 5.0)

「電波の道」で、いつでも、誰でも、どこでも「つながる東京」を実現する

・21世紀の基幹的公共インフラである「電波の道」（「TOKYO Data Highway」）を民間と都の最強タッグで構築し、いつでも、誰でも、どこでも「つながる東京」を実現する。

データ共有と活用の仕組みをつくり、行政サービスの質を向上させる

・ビッグデータを社会の基盤として、AIとIoTで人とモノがつながり、誰もが快適で質の高い生活を送ることができる「スマート東京」の実現に向け、様々なデータを集約するプラットフォームの構築と、データを活用した分野横断的なサービスの社会実装を強力に推進する。

都庁のデジタルトランスフォーメーションを強力に進める

・都庁をデジタルガバメントへと変貌させ、国や区市町村、民間企業等とのデジタル連携により、都民サービスの飛躍的な向上、都庁の機能強化、生産性・効率性の高い都職員の働き方を実現する。

推進プロジェクト

TOKYO Data Highwayの実現

デジタルツイン実現プロジェクト

データを活用した早期社会実装実現プロジェクト

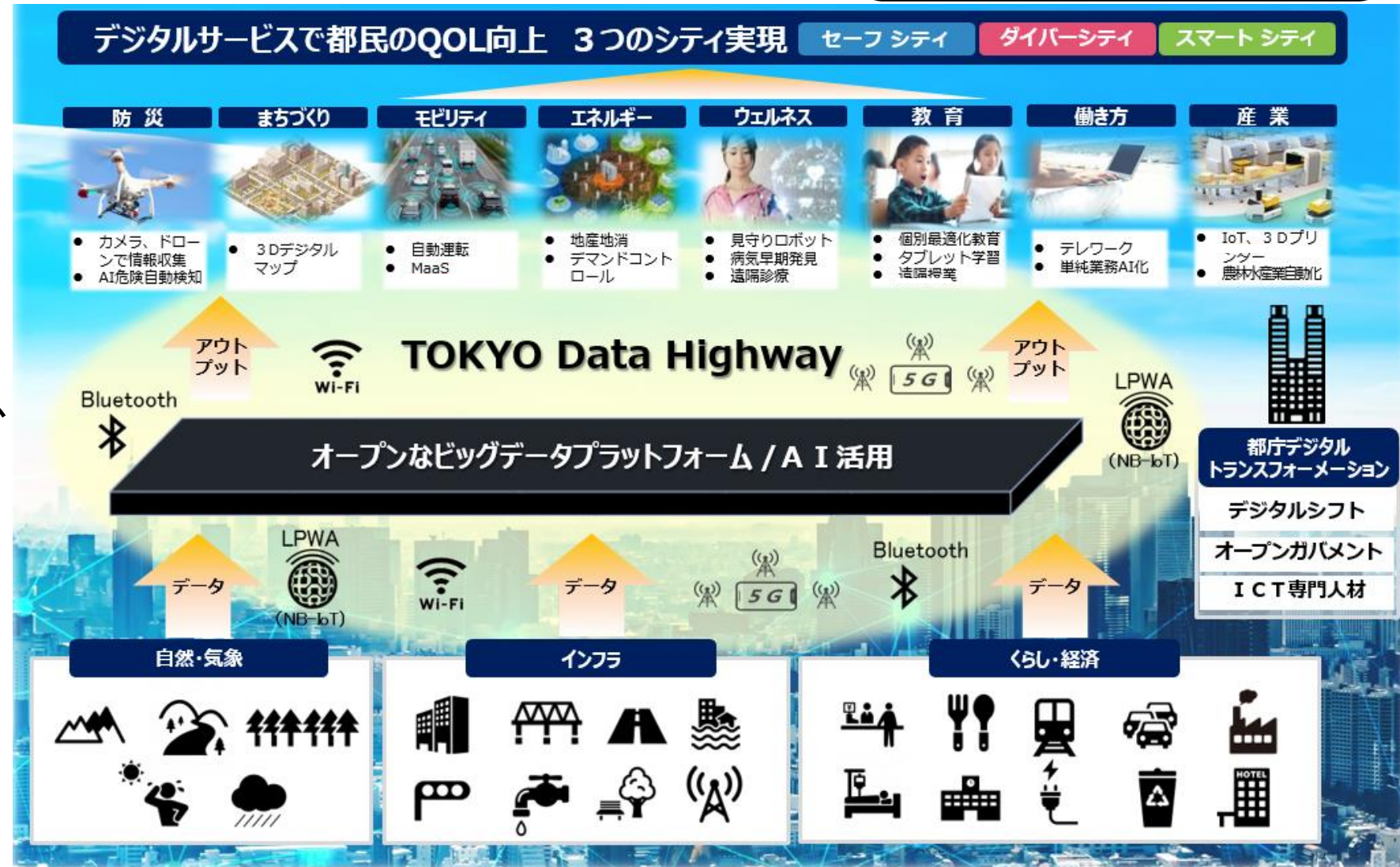
都庁デジタルガバメントプロジェクト

- あり方検討会※1でも議論したデータプラットフォームについて、「未来の東京」戦略ビジョンで言及

※1:「Society 5.0」社会実装モデルのあり方検討会

【経緯】「スマート東京実施戦略」

令和2年2月7日



- あり方検討会※1や、戦略ビジョン※2等を踏まえ、**都のスマート東京関連政策の全体像を提示**

※1:「Society 5.0」社会実装モデルのあり方検討会
※2:「未来の東京」戦略ビジョン

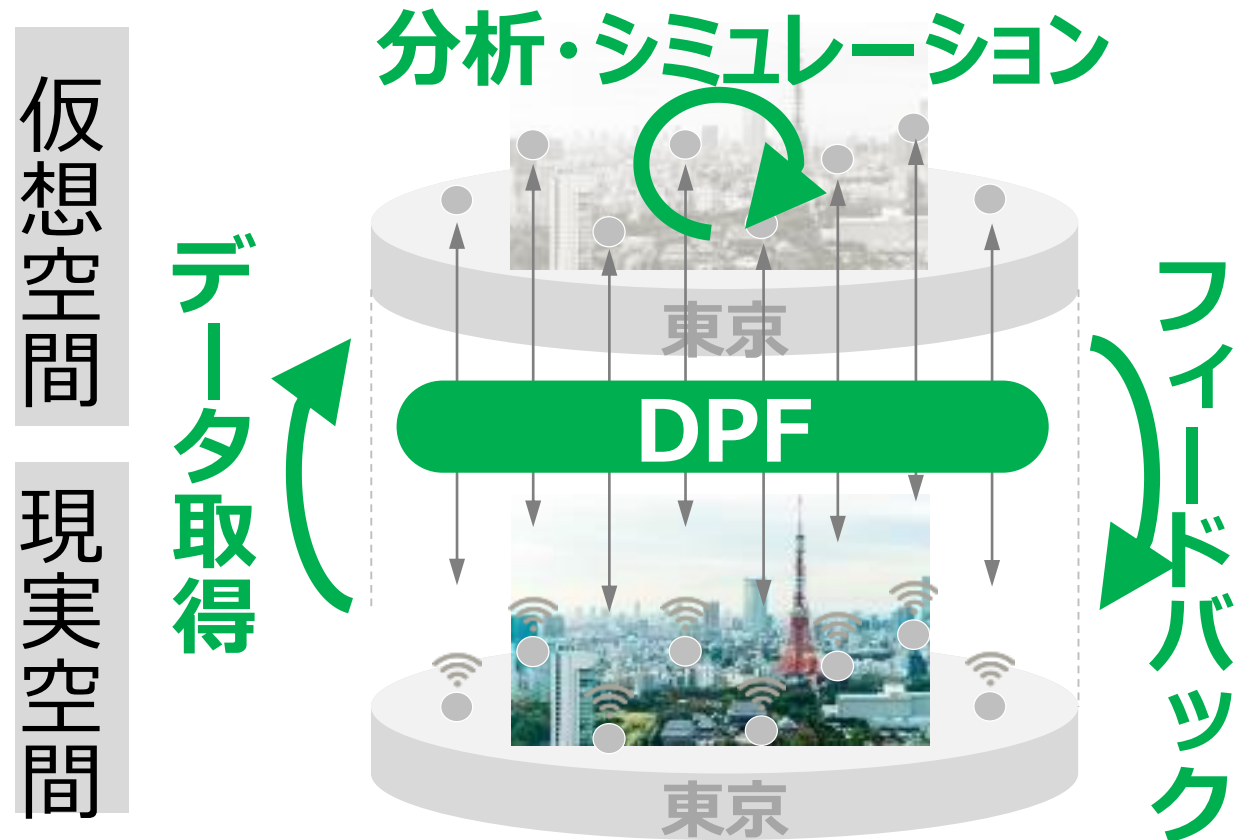
【経緯】データプラットフォーム構築の基本方針（1/5）

令和2年2月21日

官民連携データプラットフォーム（DPF）の構築

- 1 DPFの構築
- 2 都市のデジタルツインの実現
- 3 デジタルツインを分かりやすく伝えるWebサイトの構築
- 4 DPFで扱うデータ・アーキテクチャ
- 5 民間との連携や規制緩和などの環境整備

都市のデジタルツインのイメージ



【経緯】データプラットフォーム構築の基本方針 (2/5)

都民向けスマートサービスの実装

- 都民のQOLを向上させるため、都民との直接の接点となるサービス領域の変革が欠かせない
- TOKYO Data Highway整備と、DPF構築により、様々なサービスのスマート化が進む
- 将来的なスマートサービスの実装に向け、都は下記の各分野において先行的な取組を行う

1 移動



6 バリアフリー



2 キャッシュレス推進



7 教育・人材育成



3 ウェルネス



8 観光



4 環境・エネルギー



9 金融



5 オープン/デジタルガバメント



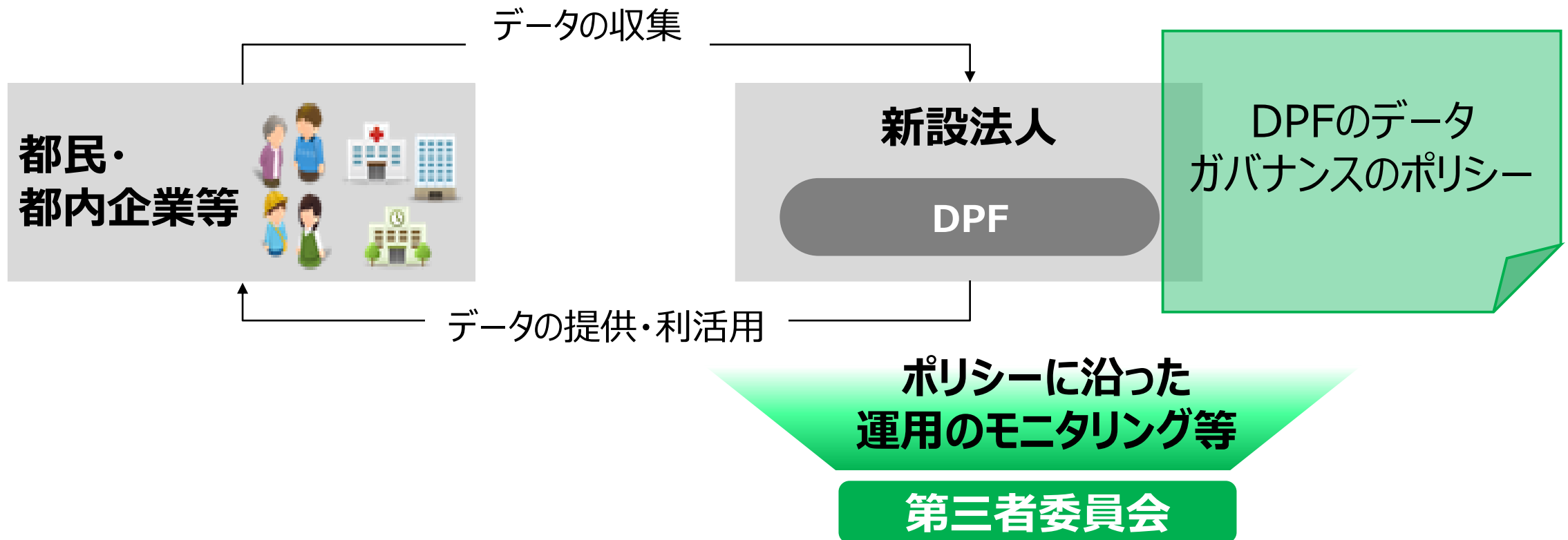
10 横断的取組その他



【経緯】 データプラットフォーム構築の基本方針 (3/5)

DPFにおけるデータのガバナンス

- 新設法人が扱う、データ収集や提供・利活用にかかる基本的な考え方（ポリシー）を示す
- ポリシーに沿った運用のモニタリングなどを行う第三者委員会を設ける



【経緯】 データプラットフォーム構築の基本方針 (4/5)

DPF構築の進め方①

- 庁内にデジタル分野の先端人材を確保
- **スタートアップ・NPO・大学・研究者などと連携し、産学官の協議会を設置**
- DPFの構築にあたっては、**令和2年度に準備組織を発足**
DPFのデータガバナンスのポリシーを示す
都として「東京都オープンデータカタログサイト」を充実させる

【経緯】データプラットフォーム構築の基本方針 (5/5)

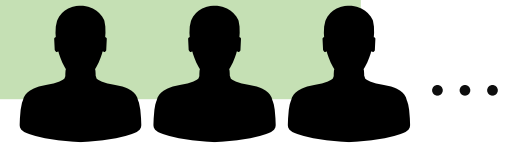
DPF構築の進め方②

- データの掛け合わせプロジェクトの実証実験や、都としてデジタルツインの実現を目指して3Dビジュアライゼーションの取組を推進
- 令和2年度中に同プラットフォーム運営主体となる一般社団法人等の法人を設立し、事業のスタートを目指す。**令和3年度以降に、事業を本格化**

【これから】準備会のスキーム

横断的な議論・
WGの設置など

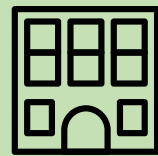
官民連携データプラットフォーム
運営に向けた準備会



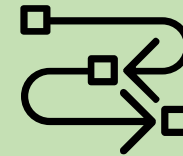
有識者で構成

個別分野の
課題・対応策検討
など

施設系
混雑WG



交通系
混雑WG

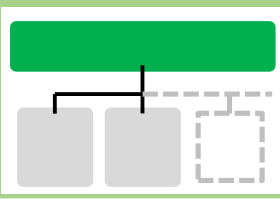


バリアフリーWG、
防災WGなど

必要に応じ
随時設置

分野毎の関係者（企業等）で構成

【これから】今後の準備会での検討課題（例）

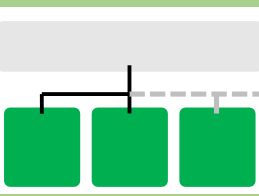


官民連携データプラットフォーム 運営に向けた準備会

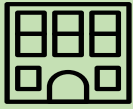


- 1 具体的な社会的課題に基づくWGの設置
- 2 都とDPFとの役割分担・連携関係
- 3 DPFの主な業務範囲・内容（含むセキュリティ、ポリシーなど）
- 4 DPFのシステム機能や運用ルール
- 5 国内外の先進事例の研究・調査

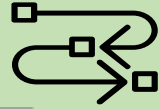
【これから】今後のWGの検討課題（例）



施設系
混雑WG



交通系
混雑WG



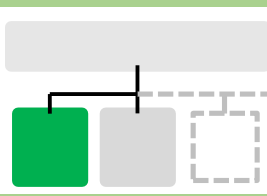
バリアフリーWG、
防災WGなど

...



- 1 データ利活用に向けた、ニーズ、課題出し
- 2 ニーズ、課題を踏まえた対応策の検討
- 3 対応策における、DPFに期待する役割の検討
- 4 データ標準化やガイドライン作り
(データの種類・形式、表示方法など)

【これから】先行実施：施設系混雑WGのイメージ



「with コロナ」時代の3密回避に寄与する混雑WGを先行実施

検討課題例

- 混雑関連データの利活用に向けた、**ニーズ、課題出し**
- ニーズ、課題を踏まえた対応策の検討
- 混雑関連データの**標準化やガイドライン作り**

…等

参加者例

位置情報ホルダー
(キャリア等)



混雑テック系
スタートアップ



マップ
事業者



決済情報
ホルダー

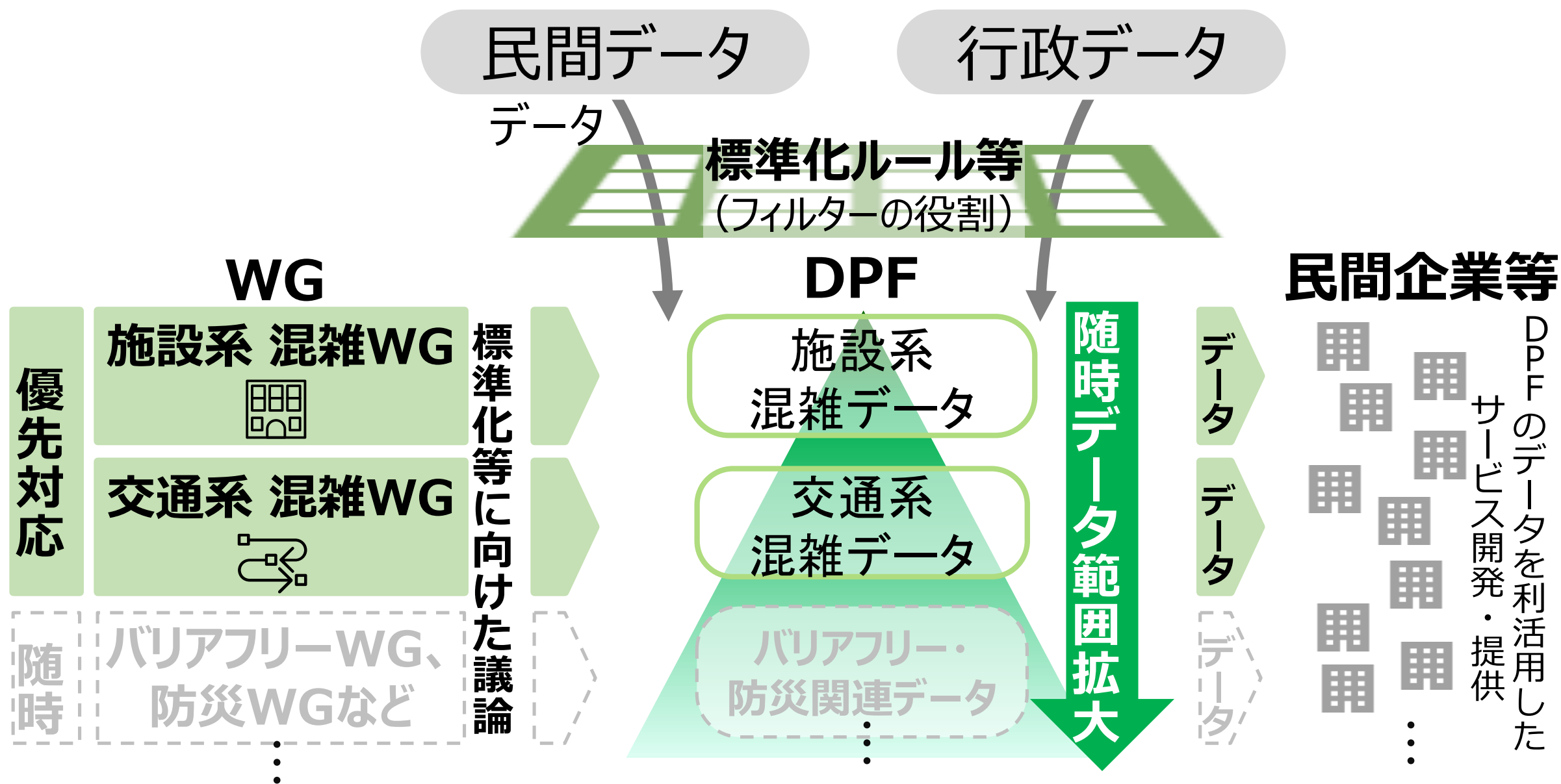
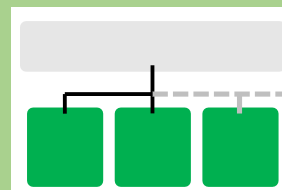


サービス利用者
(小売等)



…等

【これから】WG・DPFの位置づけのイメージ



【関連事業】データ活用実証事業

テーマ例



3密回避・混雑回避のための
情報の提供



交通上の
混雑情報の提供



防災情報の提供



バリアフリー移動
支援情報の提供



西新宿での
新サービス創出

対象

新型コロナウイルス感染症防止対策をはじめ、
社会的な課題の解決等に資するテーマ

プロジェクト数

全体で5つ程度（予定）

支援費用

合計で最大8千万円程度

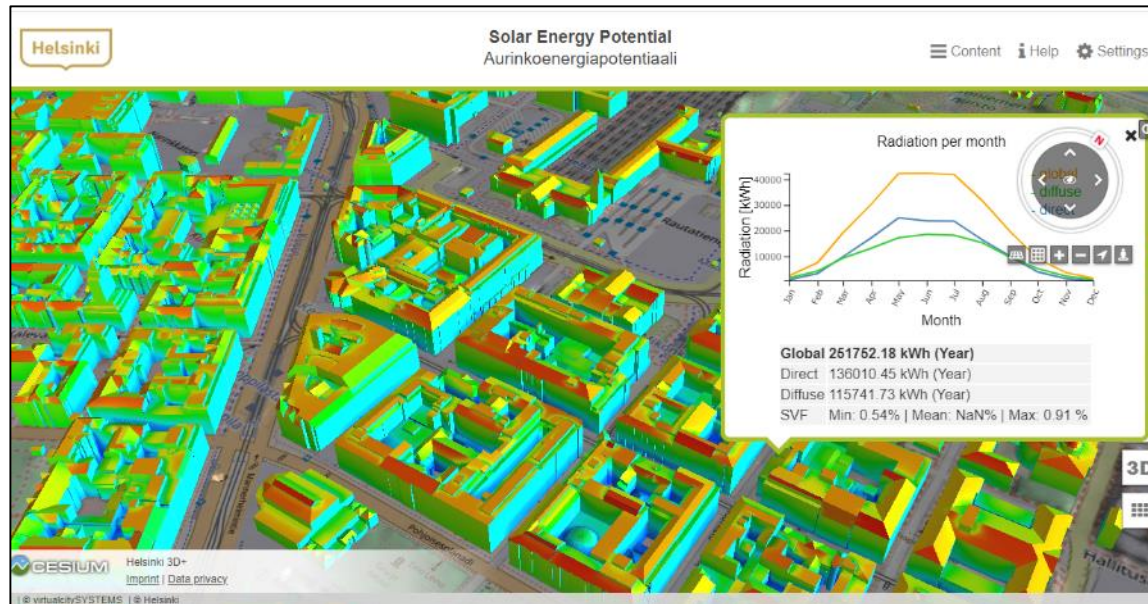
実施期間

令和2年8月～11月（予定）

【関連事業】3Dビジュアライゼーション事業

都内の特定エリアを対象に、デジタルツインの基礎となる 3Dモデルの構築と、シミュレーション等を実証

3Dビジュアライゼーションのイメージ



図は、ヘルシンキ市により構築・公開されている3Dモデル
太陽光発電のポテンシャルなどを分析・シミュレーション可能
(出典：同市Webサイト)

テーマ例 (調整中)

都市開発

防災
(地震対策等)

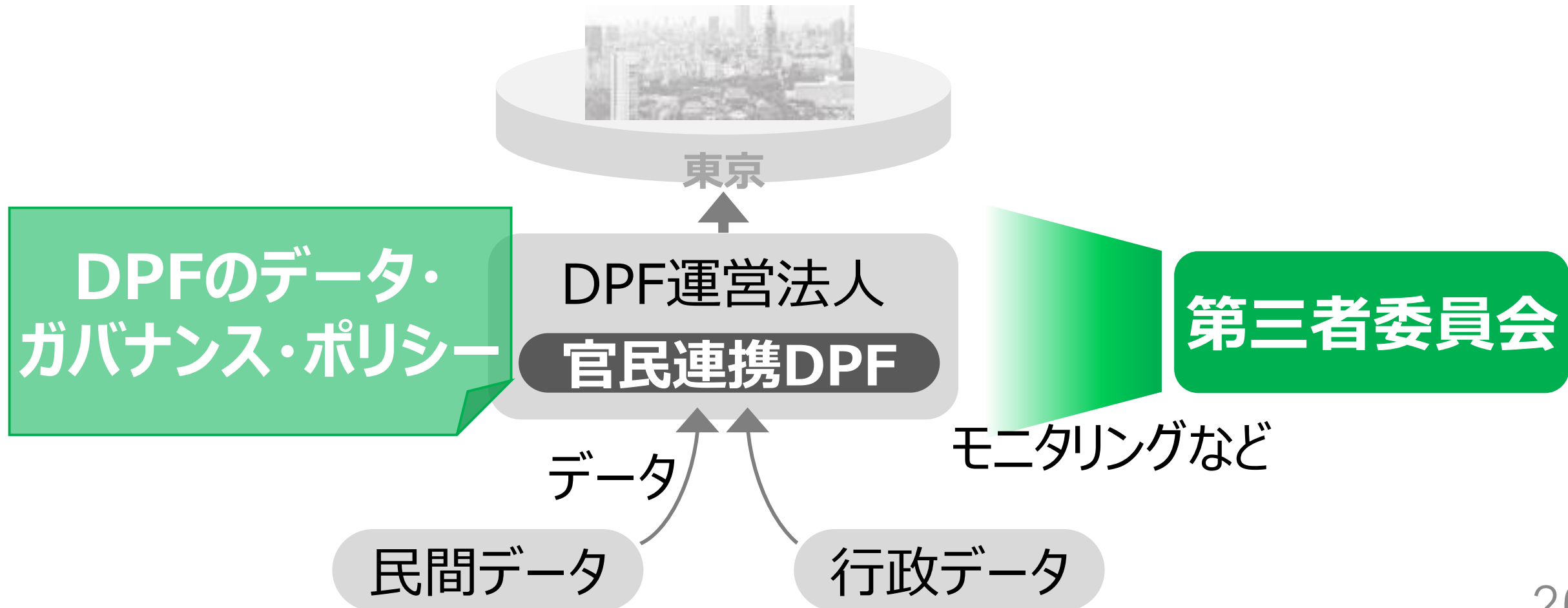
地下インフラ

人流

…等

【関連事業】データ・ガバナンス・ポリシーの検討

DPFに適用するデータ・ガバナンスのポリシーを作成し、
モニタリングする第三者委員会の設置を準備

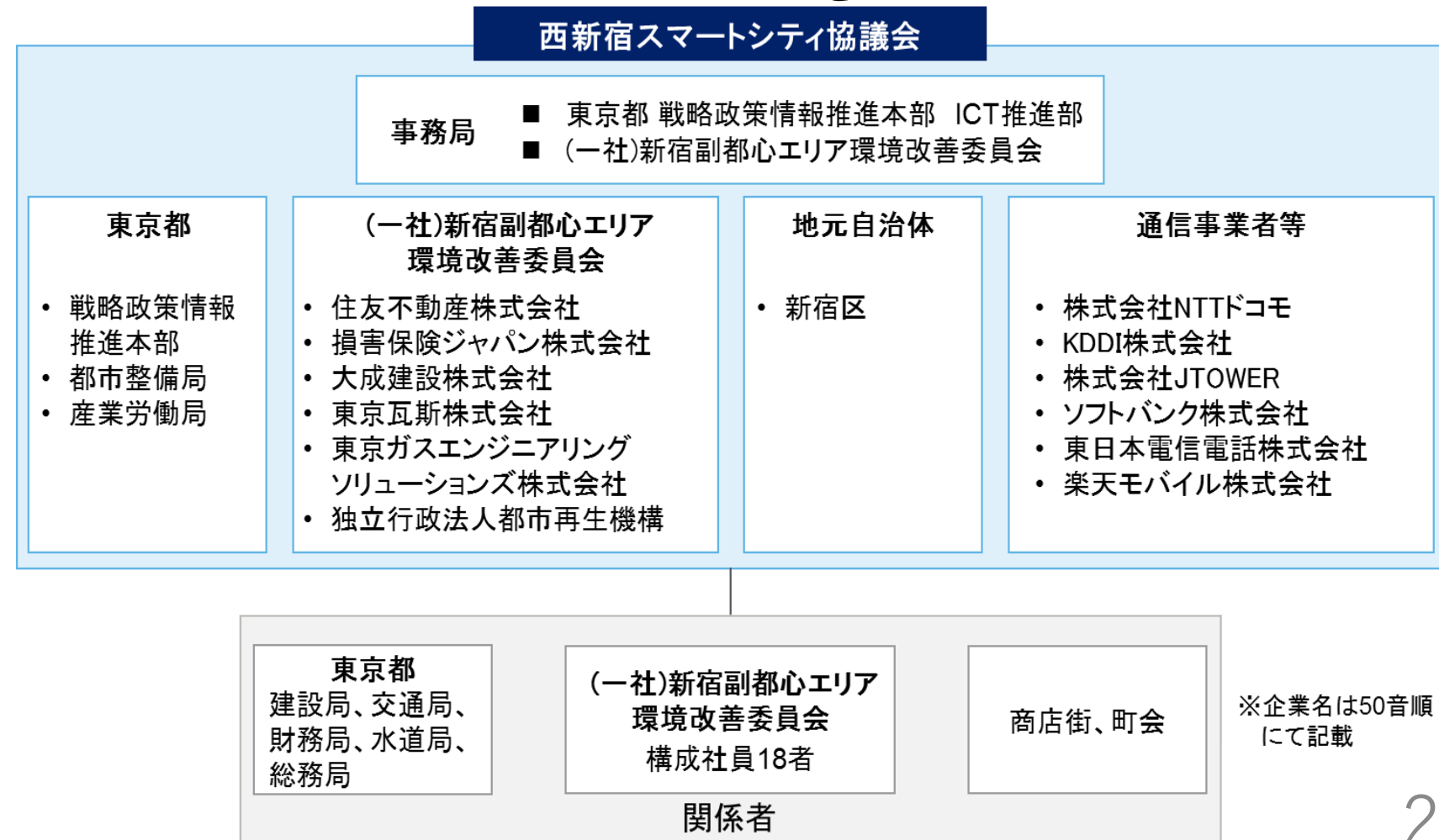


【その他の事業】西新宿スマートシティ協議会

デジタル技術を活用することで人と人、
人と都市をつなげ、西新宿に関わる人のQOL向上に貢献

実施内容

- スマート東京先行実施エリアの1つとして、エリア団体等と協議会を設立
- エリア団体等と連携し、デジタル技術等を活用した課題解決を進める



【その他の事業】 スマート東京（東京版Society 5.0）の 実現に向けた先行実施エリアプロジェクト

特定エリアに都市OSを実装し、エリアに密着した
リアルタイムデータ等を活用した領域横断型のモデルプロジェクトを支援

選定プロジェクト

大手町・丸の内・有楽町地区
スマートシティプロジェクト

Smart City Takeshiba

豊洲スマートシティ

